

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年 6月26日 (火)

### 2 確認箇所

- ・覆土式保管エリア沈砂池
- ・ガレキ類一時保管エリアP
- ・陳場沢川河口

### 3 確認項目

- (1) 雨水排水モニタリング地点の周辺状況
- (2) 乾式キャスク仮保管設備内エリアモニタ警報発生状況

### 4 確認結果の概要

- (1) 雨水排水モニタリング地点の周辺状況について

前回(6月20日)に引き続き、廃棄物関連施設設置予定地周辺のモニタリング地点3箇所(覆土式保管エリア沈砂池、一時保管エリアP排水柵、陳場沢川河口)の周辺状況等を確認した。

#### ○覆土式保管エリア沈砂池

- ・覆土式保管エリアLの南側に沈砂池が設置されており、サンプリングポイント付近には陳場沢川へ上澄み水を排水するための配管が設置されていた。(写真1)

#### ○一時保管エリアPの柵

- ・エリアP北側に柵が設置されており、そこから陳場沢川へ排水されるようになっていた。柵には、わずかに水がたまっていた。(写真2)

#### ○陳場沢川河口の状況

- ・サンプリングポイントの近くには橋がかかっていた(写真3)。水は滞りなく流れており、橋より先についても、濁り等はなかった(写真4)



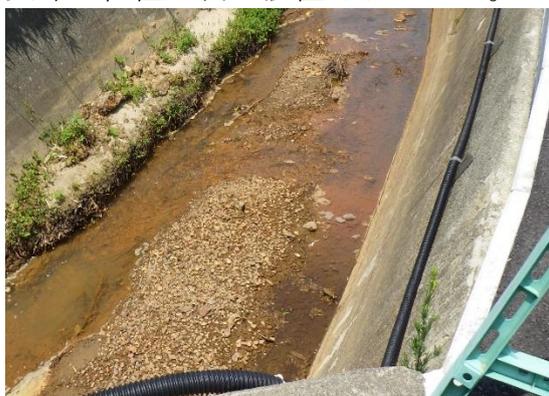
(写真1)  
赤丸が排水管



(写真 2-1)  
矢印の位置に柵が設置されていた。



(写真 2-2)  
柵の様子。矢印は水の流れを示す。



(写真 3) 手前に見えるのが橋桁



(写真 4) 同上

## (2) 乾式キャスク仮保管設備内エリアモニタ警報発生状況について

本日(6月26日)、12時59分に乾式キャスク仮保管設備にてエリア放射線モニタが「高」警報を出したことから状況を確認した。

警報発生前は指示値は $0.39 \mu\text{Sv/h}$ であったが、段階的に上昇し、一時 $32.21 \mu\text{Sv/h}$ まで上昇したが、同じように下降して13時14分には発報前の $0.39 \mu\text{Sv/h}$ まで下降して安定した。

同設備に設置されている他のエリア放射線モニタについて変動はなく、キャスク蓋間圧力及び温度には異常はないとのことであった。

東京電力が発報したエリア放射線モニタを点検した結果、故障と判明したことから、当該エリア放射線モニタの交換を実施していくとのことであった。

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。